

第2学年 英語科学習指導案

日時：平成25年10月22日（火）5校時

場所：盛岡市立見前南中学校 2年1組教室

生徒：男子19名 女子16名 計35名

指導者：石亀 典子

Kiah Puth

1 単元名 My Project 5 将来の夢を語ろう（SUNSHINE ENGLISH COURSE 2）

2 単元の目標と評価規準

(1)単元の目標

自分の夢について、構成を考えながら50語程度のスピーチ発表をすることができる。

(2)単元の評価規準

ア：【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】	・間違いを恐れずに、ペアやスピーチ活動に熱心に取り組んでいる。
イ：【外国語表現の能力】	・将来の夢について、構成を考えながらマッピングをもとに、相手に伝わる50語程度のスピーチ文を書くことができる ・将来の夢について考え伝わるように、適切な音声や発音でスピーチすることができる

(3)単元における言語活動

自分の夢について、構成を考えながら50語程度のスピーチ発表を行う

3 単元について

(1)子どもの実態

スキット作りやスピーチ発表等、活用の言語活動を各単元で行ってきた。発表する内容が難しいと感じる課題であっても、パーソナル・ペア・グループの活動で互いに協力しながら、相手にしっかりと伝え、聞き手もそれを理解し、相互に通じ合うことを目標に学習を積み重ねてきた。しかしまだ伝える技術（態度と正確な英文）で不十分な面も多い。スピーチ発表は2年生になって3度目となるので、今まで以上に相手に伝わるように発話することを意識させ、伝えあうことの楽しさを体感させたい。

(2)教材について

My Project は、夢を語るために必要な既習表現を活用して、自分の夢について英語でスピーチ原稿を作り、発表することがねらいである。スピーチのモデルとして、プロゴルファー石川遼の「将来の夢」を読み、スピーチ原稿の作り方を確認する。次にマッピングを利用しながら、スピーチ原稿を作成し、スピーチ発表を行うという学習活動の流れである。

学習指導要領の話す言語活動の指導事項として、「与えられたテーマについて、簡単なスピーチをすること」「自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること」とある。「将来の夢」という生徒にとって身近なテーマでスピーチ文を作成し、相手に伝えることを意識して発表する活動は、話すことのコミュニケーション能力を育てるのに適した教材である。

(3)指導について

Program5 では「盛岡観光紹介」のグループ発表、Program6 では「職業体験と将来の夢」のミニスピーチを行ってきた。いずれも「相手に伝えること」を意識して取り組んできた。2学期始めに、

この単元は何を目標に学習するのかを確認し、それに向けて各 Program を進めてきた。特に Program の題材が、この単元につながる部分も多かったため、スキット作成やミニスピーチを設定し、この単元のスピーチに不安なく取り組めるよう指導してきた。マッピングを活用して、構成を考えながらのスピーチなので、モデル文から構成や音読の仕方を確認し、よりよいスピーチができるよう学習を進めていきたい。また、ペア・グループ・クラスとスピーチ場面を何度か設定することによって、相手に伝わることを意識して話すことができる態度や能力を育てていきたい。

4 単元の指導計画と評価計画

時	○ねらい ・ 具体の学習活動	単元の 評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ○本単元で身につける技能や理解する内容を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・本単元で身につける技能や理解する内容を知る ○スピーチ原稿の作り方を理解する <ul style="list-style-type: none"> ・ Basic Dialog の復習をする (Warm-up) ・ 石川遼選手の「将来の夢」を読み、文章構成について確認する ・ 伝わるスピーチとなるためにはどうすれば良いかを考え音読練習する 		
2	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のスピーチ原稿を、マッピングを使って考える <ul style="list-style-type: none"> ・ Basic Dialog の復習をする (Warm-up) ・ モデル文とマッピングの対応を確認し、音読する ・ スピーチ原稿作りとして、日本語でマッピングする ・ マッピングから、スピーチ原稿を完成させる 	イ	活動の観察
3 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチ原稿を完成させ、スピーチ発表を行う <ul style="list-style-type: none"> ・ Basic Dialog の復習をする (Warm-up) ・ ペアで原稿の修正や発表の練習を行う ・ グループ内で発表し、評価し合う ・ グループ代表は、全体で発表を行う 	ア・イ	パフォーマンステスト
後 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体で発表しなかった生徒は warm-up 等で行う 	ア・イ	パフォーマンステスト

5 本時について (3/3時間目)

(1)本時の目標

自分の夢について、構成を考えながら 50 語程度のスピーチ発表をすることができる。

(2)本時の評価規準

観点	評価規準	評価方法	B を実現していない学習者への手立て
コミュニケーションへの関心・意欲 ・態度	・間違いを恐れずに、ペアやスピーチ活動に熱心に取り組んでいる。	観察	・ペアやグループ内でどのような学習活動を行えばよいのか確認をする
外国語表現の能力	・将来の夢について考え伝わるように、適切な音声や発音でスピーチすることができる	観察	・ペアやグループ内で発音などを確認し、音読練習をさせる

(3) 本時の展開

段階	時間	学習活動及び学習内容	留意事項 (○) 評価 (☆) 言語活動 (*)
導入	5	0 Warm up Basic Dialog	
展開	5	1 学習課題を設定する 前時の復習を行い、「将来の夢」のスピーチ発表を行う学習課題を設定する 「将来の夢」について相手に伝わるスピーチをしよう	○本時の学習活動の流れを示し、見通しを持たせる ○スピーチを行うポイントを確認する
	5	2 スピーチ内容を考え、発表し評価し合う (1) ペアで原稿の修正や発音確認を行う (ペアワーク)	*スピーチ発表 ○ペア活動で助け合いながら完成させる
	3	(2) 発表練習を行う (パーソナルワーク)	
	5	(3) ペアで発表し合い完成させる (ペアワーク)	○ペアをかえて練習し、互いに評価させる
	10	(4) グループで発表し、評価する。グループ代表を決める (グループワーク)	○それぞれの良さを共有しあう ☆将来の夢について考え伝わるように、適切な音声や発音でスピーチすることができる (活動の観察)
15	(5) 各グループ代表は、全体で発表する (クラスワーク)		
終末	2	4 Consolidation (本時のまとめと次時の予告)	☆間違いを恐れずに、ペアやスピーチ活動に熱心に取り組んでいる。 (学習チェックシートへの記入)

(4) 板書計画

Tuesday, October 22 sunny												
Goal: 「将来の夢」について相手に伝わるスピーチをしよう												
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 ペアワーク (修正・確認)</td> <td style="width: 50%;">伝えるために</td> </tr> <tr> <td>2 パーソナルワーク (練習)</td> <td>1 Loud voice</td> </tr> <tr> <td>3 ペアワーク (発表練習・修正)</td> <td>2 Eye contact</td> </tr> <tr> <td>4 グループワーク (発表)</td> <td>3 Correct Pronunciation</td> </tr> <tr> <td>5 クラスワーク (代表)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 学習の振り返り</td> <td></td> </tr> </table>	1 ペアワーク (修正・確認)	伝えるために	2 パーソナルワーク (練習)	1 Loud voice	3 ペアワーク (発表練習・修正)	2 Eye contact	4 グループワーク (発表)	3 Correct Pronunciation	5 クラスワーク (代表)		6 学習の振り返り	
1 ペアワーク (修正・確認)	伝えるために											
2 パーソナルワーク (練習)	1 Loud voice											
3 ペアワーク (発表練習・修正)	2 Eye contact											
4 グループワーク (発表)	3 Correct Pronunciation											
5 クラスワーク (代表)												
6 学習の振り返り												